

令和４年度守口市立図書館運営状況に関する評価及び今後の運営について（案）

目 標			指 標	指標実績	評価及び今後に向けての意見
1 図 書 館 サ ー ビ ス の 充 実	①	蔵書数の拡充と資料の充実	・蔵書数 ・「守口市立図書館資料収集方針」に沿った図書の収集 ・子どもの読書意欲、知的探求心に応える資料の充実 ・高齢者及び障がい者に配慮した図書の充実 ・市民ニーズの高い教養・趣味等の資料の充実	・蔵書数（図書のみ） （R2 187,680冊、R3 195,876冊、R4 206,094） ・選書に関する研修受講者（2名） ・主題の本の活性化を図るため、古い情報の資料を新しいものに入れ替えることを中心に、貸出の多い児童書の充実、また、マンガなども含めた幅広いジャンルを収集。 ・大活字本やLLブック等を継続して購入。 ・市民からニーズの高い小説はもちろん、読みやすい文庫本の充実を図ることや、株式、ビジネス書など新しい情報を意識し収集。	・令和４年度末時点での蔵書数は拡充計画を大きく上回っており、今後も引き続き利用者のニーズに合った収集を行われたい。 ・インターネットが普及されている今だからこそ、図書館としての存在感を出し、様々な利用者に寄り添うことができ、気軽に相談できるレファレンスサービスを実施されたい。 ・来館者と本の出会いの創出には毎月の本の展示の充実が欠かせないことから、継続して実施されたい。
	②	資料・情報提供機能の充実	・全体的なレファレンスサービスの充実	・レファレンス記録3件（簡易なものを除く） ・レファレンスに関する研修受講者（1名）	・貸出冊数や件数が増加しており、ニーズの高い本を選書するなど利用者に寄り添った運営ができている点が評価できる。
	③	図書館の効果的活用	・来館者数 ・生涯学習施設の利用者数 ・貸出冊数 ・貸出件数	・来館者数（R2 171,174人、R3 256,696人、R4 307,980人） ・生涯学習施設の利用者数（R2 7,383人、R3 88,248人、R4 33,924人） ・貸出冊数（R2 210,608冊、R3 281,083冊、R4 344,522冊） ・貸出件数（R2 54,347件、R3 65,771件、R4 82,066件）	・利用が少ない年齢層を分析することにより、ライフスタイルやテーマを絞り、ターゲットのニーズに合ったPRをするなど、来館者の増加に転ずる工夫を検討されたい。 ・令和４年度から開始した「電子図書館」を活用し、図書館を利用しない層の方にも図書サービスを利用しやすい環境を整えられたい。 ・雑誌等のバックナンバーの保管期間について、保管スペース等も考慮しながら利用者のニーズに応じた延長も検討されたい。
2 学 び と 課 題 解 決 を 支 援 す る 図 書 館	④	課題解決支援機能の拡充	・知識・技術の習得に向けた各種講座等の開催 ・子育て、医療・健康づくり等の身近な分野のレファレンスサービスの充実	・里親制度の紹介展 里親支援機関おむすびと連携展示 ・初心者のおはなし会講座 ・育てよう！ものしりの木 ・中高生向け調べ学習イベント「ゴー・ガールズ！すごろくで遊んで、未来をつくる」 ・なんと！図書館でニュースポーツ ・図書館で守口市の歴史を知ろう ・コーヒーセミナー ・セカンドアカデミー～初めて触る！スマートフォン体験講座～ ・羊毛フェルトワークショップ「スマホ用ショルダーストラップ」 ・漆うボ「漆絵」【金継ぎ】 ・陶芸うボ「干支の置物 卯（うさぎ）を作ろう」「オリジナルの器をつくろう」 ・バレエストレッチ講座 ・ミュージカルダンス講座 ・Web動画配信	
	⑤	市民の学習活動を支援する機能の拡充	・自習室、自習スペースの運用 ・生涯学習施設の活用	・引き続きマナー向上を促すため、荷物を置いて長時間退席している利用者には、荷物回収のうえ他の利用者への配慮を口頭注意等を行った。 ●絵本作家を招聘した作品展、イベントの開催 ・新鋭絵本作家展 Up-and-coming Artists! ・読書週間特別企画 ハッピークリエイターたかいよしかず絵本作品展 ～夢をかなえるチカラ～ ・安野光雅 最後の旅路 -新作絵本大型パネル展 「旅の絵本Xオランダ編」- ・乙女の本棚パネル展 ・子ども読書活動推進事業 New Year特別企画 守口市立図書館×tupera tupera絵本ライブ ●守口の街歩きと関連させた写真展の実施 ・「まちとひと」声をつなげて みやけなおこさんも参加～Walk i n' About@守口～ & みんなのもりぐち!!魅力再発見!!写真展	・子どもたちが図書館に行きたいと思うような動画の配信など図書館の魅力を様々な手法で発信されたい。 ・絵本作家を招聘してのイベントやニュースポーツの講習会など、多岐にわたるイベントを数多く実施することで市民の生涯学習に寄与している点が評価できる。 ・自習室が満席で使用できないという意見があることから、現状把握を徹底し、時間制限や譲り合って使用することのできる環境づくりなど、運用方法について検討されたい。 ・閲覧席での私語や自習に対する意見が多く寄せられていることから、スタッフも意識しながら定期的な見回りや声がけを徹底されたい。 ・守口を活発にしていいため、学習成果を守口へ還元していただけるような環境づくりを意識した運営をされたい。
	⑥	多様な学習機会と活動の場の提供	・講座やイベント等の開催回数 ・講座やイベント等の参加人数	・講座やイベント等の開催回数 （R2 335日、R3 543日、R4 1,076日） ・講座やイベント等の参加人数 （R2 3,953人、R3 10,577人、R4 16,174人）	・地域誌を所蔵する際は、一市民への情報として適切かどうかを気をつけて判断されたい。
	⑦	歴史を学び、歴史や文化に触れることができる場の提供	・郷土資料の充実 ・歴史や文化に触れることのできる講座の開催 ・郷土資料展示室の活用	・引き続き地域紙「日日新聞」への定期的な情報提供をすると共に、「日日新聞」「河内新聞」「AGORA」を収集し郷土資料室に配架。 ・図書館で守口市の歴史を知ろう ●守口の歴史や魅力を掘り下げるトークショーを実施 ・みやけなおこスペシャルトークショー -「まちとひと」声をつなげて- ●郷土資料展示室を活用した絵本作品展の開催 ・読書週間特別企画 ハッピークリエイターたかいよしかず絵本作品展～夢をかなえるチカラ～	

目 標			指 標	指標実績	評価及び今後に向けての意見
3 子どもの読書活動を推進する図書館	⑧	読書のきっかけづくりの充実	・子ども達に対するオリエンテーション、出前授業等の開催回数及び内容 ・おはなし会の開催回数 ・「こども読書の日」、「読書週間」等読書啓発に関するイベント等の開催回数及び内容	・小学生等図書館見学の受入れ回数 （R2 3回、R3 6回、R4 8回） ・おはなし会の開催回数 （R2 12回、R3 27回、R4 61回） ・読書啓発に関するイベント等の開催回数 （R2 1回） ・読書週間特別企画～もりちゃん＆ぐっちゃんとアコちゃんの宝探しラリー～ （R3 4回） ・子ども読書活動推進事業 守口市立図書館一周年記念事業 気骨の作家 田島征彦が染め上げる！-絵本原画と型染の世界-展 ・岡田よしとか新作絵本原画展&Painting exhibition of roots ・読書週間イベント 1行図書館 ・読書週間イベント わたしの「推し」本 （R4 4回） ・子ども読書活動推進事業 New Year特別企画 守口市立図書館×tupera tupera絵本ライブ ・読書週間特別企画 ハッピークリエイターたかいよしかず絵本作品展 ～夢をかなえるチカラ～ ・「こどもの読書週間イベント よんでビンゴ」 ・「目次の1行」図書館	・ 頻度の高いおはなし会を実施することで、子どもの読書活動推進に寄与している点が評価できる。 ・ 電子図書館が子どもにも利用しやすいようにホームページ内での子ども用ページへの誘導方法について検討されたい。 ・ 図書館を身近に感じることができ、図書館自身の認知度向上にもつながることから、児童生徒に配布されているタブレットと電子図書館とのリンクは非常に大事である。学校司書との連携の際にも電子図書館をアピールされたい。 ・ 子どもたちの本に親しもうという意欲向上を図っていくため、令和5年度から開始したスマート登録（来館せずとも図書の利用者登録ができるサービス）を周知されたい。 ・ 学校司書と積極的に連携を図り、図書館から学校へ出向いての出前授業等の事業についても実施されたい。 ・ 中高生に対して本の魅力を伝え合えるイベントの充実を図られたい。
	⑨	読書環境の充実	・学校図書館との連携 ・図書館司書と司書教諭や学校司書等との連携 ・中・高生に対して、本の魅力を伝え合えるイベントの開催回数及び内容	・学校司書講習会 （R2 1回、R3 0回、R4 0回） ・学校図書館担当教員及び学校司書連絡協議会への参加。今後の連携について協議。 ・中高生に向けたYA書架の充実と定期的な展示の実施。 ・中高生向けの調べ学習イベント実施。	
4 効果的・効率的な運営体制の図書館	⑩	効果的・効率的な図書館運営	・事業計画、事業報告 ・収支計画、収支報告 ・業務マニュアルの整備・見直し ・財源確保や経費節減につながる取組		・ たくさんの方に来館いただいているにも関わらず、利用者アンケートの回収数が少ないため、 <b>設問の工夫や</b> 、回答者に対して何かサービスを提供するなど回収方法を工夫されたい。 ・ 現状の利用状況を把握するために、来館者の年齢要件や地域要件の把握は必須であると考えられることから、個人情報に配慮しながらアンケートでの情報収集及び分析を実施されたい。 ・ アンケートの結果及び対応状況等については、定期的に図書館内及びホームページにおいて公表されたい。 ・ 職員研修については、適宜実施されており、評価できる。今後も図書館としての質を向上させるため、職員研修に注力されたい。 ・ 今後もボランティアとの協働事業を定期的な実施されたい。
	⑪	点検評価の徹底及び公表	・利用者アンケートの実施と公開	・利用者アンケートの実施回数 （R2 4回、R3 4回、R4 4回）	
	⑫	図書館職員の人材育成	・職員の組織内研修の実施回数及び内容 ・職員の派遣研修の件数及び内容	・職員の組織内研修の実施回数 （R2 44回、R3 51回、R4 53回） 内容：選書、レファレンス、障がい者サービス、児童サービス、人権、コンプライアンス、危険予測、情報セキュリティ等 ・職員の派遣研修の件数 （R2 2回、R3 4回、R4 9回） 主な内容：児童サービス、学校図書館、接遇研修、広報研修、ユニバーサルマナー検定等	
	⑬	ボランティアの育成及び活動の支援	・ボランティア養成のための講座や講演会の回数 ・ボランティアとの協働事業数及び内容	・ボランティア養成のための講座や講演会の回数 （R2 0回、R3 0回、R4 2回） ・ボランティアとの協働事業数 （R2 0回、R3 0回、R4 3回） 主な内容：ニュースポーツイベント、としょかんまつりでのおはなし会、英語でおはなし会等の実施。	